

令和7年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 市7

銚子市立銚子高等学校 全日制の課程 普通・理数科

1 選抜の資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接（日本語による） 検査時間：1名10分
(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）	字数：600字程度 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席が合計30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 及び特記事項	各種大会における成績および各活動実績について加点する。 各種検定により取得した資格について加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔15点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（きわめて優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組み合わせ（aaa～ccc）で得点化する。なお、cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 態度	礼法・服装・態度・言葉遣い等が適切である。
イ 学校生活への意欲	学校生活を充実させるために、積極的に取り組もうとする意志・前向きな態度がある。
ウ 人物	考え方・生活姿勢・応答の道筋が適切である。

(3) 作文〔15点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a（きわめて優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組み合わせ（aaa～ccc）で得点化する。なお、cがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 論旨が一貫しており、全体としてまとまりがある。
イ テーマ	与えられたテーマに対して内容が適切である。
ウ 文章表現	誤字・脱字等がなく、原稿用紙の使い方を含む文章表現が適切である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。
<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の得点	作文の得点	総得点
評定	加点			
135点	35点	15点	15点	200点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

4 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途、個人面談を行う。